

第4回12月定例会月会議 一般質問

誰一人取り残さない 教育について

ともにつくる秦野 桑原昌之



不登校児童生徒の現状と課題



文部科学省

令和6年10月31日

**令和5年度児童生徒の問題行動・
不登校等生徒指導上の諸課題に関
する調査結果**

不登校児童生徒 とは？

何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくともできない状況にあるために年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの

不登校児童生徒 とは？

何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくともできない状況にあるために年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの

不登校児童生徒 とは？

何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、**登校しないあるいはしたくともできない状況にあるために年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの**

不登校児童生徒 とは？

何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくともできない状況にあるために**年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの**

小・中学校における不登校児童生徒数は？

全国

346,482人

(前年度299,048人)

令和4年度より

47,434人 (15.9%増)

11年連続増加

不登校児童生徒
の出欠席の状況
は？

全国

出席日数

0日 (3.1%)

1～10日 (7.4%)

欠席日数

30～49日 (22.3%)

50～89日 (22.7%)

90日以上 (55.0%)

小・中学校における不登校児童生徒数は？

秦野市

369人

小学校 182人

中学校187人

令和4年度より

小学校 20.5%増

中学校 5.1%減

小・中学校における不登校児童生徒数は？

秦野市

369人

小学校 182人

中学校187人

令和4年度より

小学校 20.5%増

中学校 5.1%減

在籍児童生徒千人
当たりの不登
校児童生徒数
は？

令和元年度

令和5年度

小学校

小学校

全国 8.3人



全国 21.4人

秦野市 6.2人

秦野市 24.8人

中学校

中学校

全国 36.9人



全国 67.1人

秦野市 39.4人

秦野市 47.4人

秦野市における
不登校児童生徒
の最近の傾向
は？

令和元年度

小学校1年生
1人

小学校2年生
4人

小学校3年生
3人

令和5年度

小学校1年生
11人 (11倍)

小学校2年生
15人 (3.75倍)

小学校3年生
24人 (8倍)

秦野市における
不登校児童生徒
の最近の傾向
は？

令和元年度

小学校4年生
12人

小学校5年生
13人

小学校6年生
17人

令和5年度

小学校4年生
35人 (2.9倍)

小学校5年生
42人 (3.2倍)

小学校6年生
55人 (3.1倍)



秦野市における
不登校児童生徒
の最近の傾向
は？

令和元年度

中学校1年生
36人

中学校2年生
47人

中学校3年生
64人

令和5年度

中学校1年生
64人 (1.77倍)

中学校2年生
69人 (1.47倍)

中学校3年生
54人 (0.84倍)
令和4年度 81人

不登校児童生徒
について把握し
た事実とは？

学校生活に対してやる気が出
ない等

全国 32.2%

秦野市 40.4%

不登校児童生徒
について把握し
た事実とは？

不安・抑うつ

全国 23.1%

秦野市 22.5%

不登校児童生徒
について把握し
た事実とは？

生活リズムの不調

全国 23.0%

秦野市 30.6%

不登校児童生徒
について把握し
た事実は何？

学業の不振・頻繁な宿題の未
提出

全国 15.2%

秦野市 7.9%

不登校児童生徒
について把握し
た事実は何？

いじめ被害を除く友人関係を
めぐる問題

全国 13.3%

秦野市 10.3%

不登校児童生徒
について把握し
た事実は何？

親子の関わり方に関する問題
の情報や相談があった

全国 12.4%

秦野市 9.2%

こどもが考える
学校に行きづら
いと思い始めた
きっかけ

先生との関係

勉強はわかるけど授業が合わない

学校システムの問題

保護者が考える
こどもが学校に
行きづらいついと思
い始めたきっか
け

先生との関係

学校システムの問題

勉強はわかるけど授業が合わない

教員の忙しさが
背景にある可能性も指摘されている

**精神疾患を理由に病気休職した
公立の小中高校、特別支援学校などの教職員数6,539人**

先生が窮状に陥っていることが分かり、バックアップする体制の拡充が急務であることがうかがえる。

不登校児童生徒に対する取組



文部科学省が推進する不登校対策は？

「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（COCOLOプラン）」等を踏まえ、不登校の児童生徒全ての学びの場の確保、「チーム学校」での支援、誰もが安心して学べる魅力ある学校づくりを推進する。

文部科学省が推
進する不登校対
策は？

**「誰一人取り残されない学び
の保障に向けた不登校対策
(COCOLOプラン)」等を踏
まえ、不登校の児童生徒全て
の学びの場の確保、「チーム
学校」での支援、誰もが安心
して学べる魅力ある学校づく
りを推進する。**

文部科学省が推進する不登校対策は？

「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（COCOLOプラン）」等を踏まえ、**不登校の児童生徒全ての学びの場の確保**、「チーム学校」での支援、誰もが安心して学べる魅力ある学校づくりを推進する。

文部科学省が推進する不登校対策は？

「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（COCOLOプラン）」等を踏まえ、不登校の児童生徒全ての学びの場の確保、**「チーム学校」での支援**、誰もが安心して学べる魅力ある学校づくりを推進する。

文部科学省が推進する不登校対策は？

「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（COCOLOプラン）」等を踏まえ、不登校の児童生徒全ての学びの場の確保、「チーム学校」での支援、**誰もが安心して学べる魅力ある学校づくりを推進する。**

誰一人取り残されない

学びの保障に向けた

不登校対策

Comfortable,
Customized and
Optimized
Locations of learning

COCOLO プラン

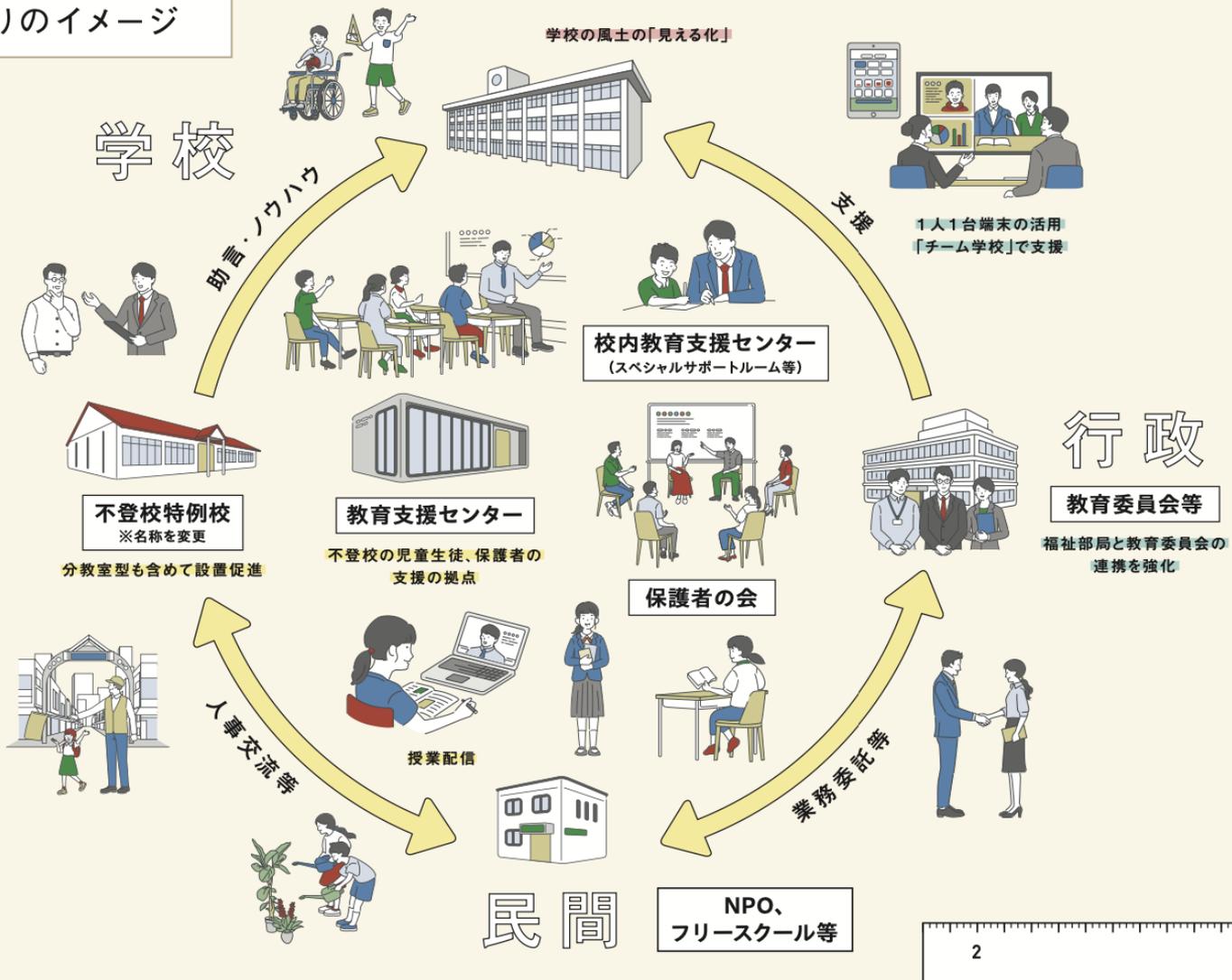
令和5年3月



文部科学省

(文部科学省)
誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策COCOLOプラン

つながりのイメージ



1

不登校の児童生徒全ての学びの場を確保し、 学びたいと思った時に学べる環境を整えます。

01

不登校特例校の 設置を促進

令和5年2月現在 不登校特例校： 21校
設置していないが設置を検討している市町村： 379

早期に全ての都道府県・政令指定都市に、将来的には希望する児童生徒が居住地によらず通えるよう、分教室型も含め全国300校を目指します。このため、設置事例や支援内容等について全国に示すとともに、都道府県が域内の設置状況を踏まえ積極的な役割を果たすことを明確にします。

人事交流等を通して、NPOやフリースクール等との連携を強化するとともに、他の学校の児童生徒へのオンラインを活用した相談支援、他の学校への助言やノウハウの普及を行います。

「不登校特例校」の名称について、関係者に意見を募り、より子供たちの目線に立った相応しいものとします。



02

校内教育支援センター (スペシャルサポートルーム等) の設置を促進

令和5年2月現在 全ての学校に設置している市町村： 228
設置している学校がある市町村： 1015

自分のクラスに入りづらい児童生徒が、落ち着いた空間の中で自分に合ったペースで学習・生活できる環境を学校内に設置します。

自分のクラスとつなぎ、オンライン指導やテスト等も受けられ、その結果が成績に反映されるようにします。

教育支援センター の機能を強化

03

令和5年2月現在 単独で設置している市町村： 1147
他の自治体と共同設置している市町村： 126
設置していないが設置を検討している市町村： 134

不登校の児童生徒への支援に加え、その保護者が必要とする情報を提供するとともに、子供たちが様々な学びの場や居場所につながるができるよう、地域の拠点としての教育支援センターに求められる機能や役割を明確化します。

民間のノウハウを取り入れた不登校の児童生徒への支援が行えるよう、業務委託や人事交流等を通して、NPOやフリースクール等との連携を強化します。

より広域の子供たちや保護者につながるよう、オンラインによる支援機能を強化するとともに、在籍校とつなぎ、オンライン指導やテスト等も受けられ、その結果が成績に反映されるようにします。
併せて、不登校の児童生徒への支援におけるメタバースの活用について、実践事例を踏まえた研究を行います。



学校は様々な学びを得られる場所ですが、不登校は誰にでも起こり得ることです。仮に不登校になったとしても、小・中・高等学校等を通じて、学びたいと思った時に多様な学びにつながることをできるようにします。このため、不登校の児童生徒の個々のニーズに応じた受け皿を整備するとともに、教育支援センターが地域の拠点となって、ICTや民間のノウハウ等も活用しながら、子供たちや保護者に必要な支援を届けます。

高等学校等においても 柔軟で質の高い学びを保障

高等学校の全日制・定時制課程においては、不登校の生徒も学びを続けて卒業することができるよう柔軟で質の高い学び方を可能とし、通信制課程においては、どの学校においても、社会的自立に向けて必要な資質・能力を身に付けられるようにします。また、高等専修学校においても「学びのセーフティネット」の取組を進め、これを周知します。

オンラインカウンセリングにより高等学校等の生徒を支援します。

高等学校等進学後も必要な支援が円滑に引き継がれるよう「児童生徒理解・支援シート」を活用して、組織的・計画的に支援します。

04

05 多様な学びの場、 居場所を確保

学校に戻りたいと思った時に、本人や保護者の希望や状況に応じて、クラスを変えたり、転校したりすることについて丁寧な相談が行われるようにします。

希望すれば、1人1台端末を活用して、自宅をはじめとする多様な場を在籍校とつなぎ、オンライン指導やテスト等も受けられ、その結果が成績に反映されるようにします。

社会的自立に向けて連続した学習ができるよう、学校や教育委員会とNPOやフリースクール等との連携を強化します。

こども家庭庁とも連携し、身近な地域で、人とつながり、学びに向かう土台づくりや様々な体験活動ができるよう、学校や家庭以外の多様な居場所づくりを広げます。

不登校の児童生徒の学びの場として、夜間中学を活用するとともに、多様な居場所として公民館、図書館等の社会教育施設を活用します。

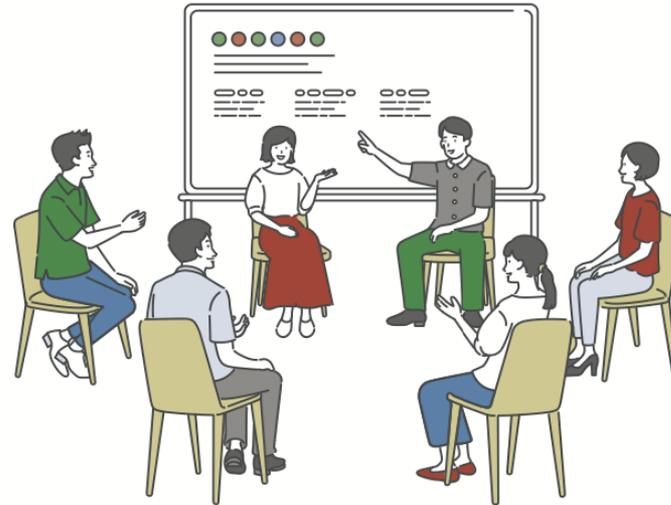




不登校となる前に、「チーム学校」による支援を行います。「学校生活が辛い…」「先生に相談してもいいのかな？」などの感情を言葉で先生やカウンセラーに相談するのは勇気が必要ですが、1人1台端末を活用して、うまく表現できない小さなSOSに早期に気付くことができますようにします。また、関係者が一丸となり不登校の児童生徒の保護者を支援します。

03

一人で悩みを抱え込まないよう 保護者を支援



不登校の児童生徒の保護者が有益な情報を得られるよう、各教育委員会の相談窓口を整備し、教育支援センター、相談機関、保護者の会、フリースクール等に関する分かりやすい情報を提供します。

学校と地域・関係機関の連携・協働や平素からの保護者間の関係づくりを促すため、コミュニティ・スクールの仕組みや家庭教育支援チーム等を活用するとともに、保護者の不安を和らげられるよう、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが関係機関等と連携して保護者を支援します。

3

学校の風土の「見える化」を通して、 学校を「みんなが安心して学べる」場所にします。

01

学校の風土を「見える化」

学校評価の仕組みを活用して、児童生徒の授業への満足度や教職員への信頼感、学校生活への安心感等の学校の風土や雰囲気把握し、学校運営を改善します。このため、風土等を把握するためのツールを整理し、全国へ示します。

不登校特例校、NPO、フリースクール等の取組も参考に、自己肯定感を育み安心して学べる学校をつくります。

学校で過ごす時間の中で 最も長い「授業」を改善

子供たちそれぞれの良さや持ち味を生かし、みんなが活躍できる機会や出番がある授業づくりが行われるよう、不登校特例校の取組等も参考にしつつ、1人1台端末を活用した子供たち一人一人の学習進度や興味・関心等に応じた指導など、一方通行型でない、子供たちの特性に合った柔軟な学びを実現し、それぞれが前向きに学べるようにします。

特に校内教育支援センター（スペシャルサポートルーム等）では、一人一人の特性や能力、興味や関心に応じた柔軟な学習ができるようにします。

02

03

いじめ等の問題行動 に対しては毅然とした 対応を徹底

こども家庭庁とも連携し、いじめや校内暴力等の問題行動には、教育的配慮の下、毅然とした対応を徹底するとともに、犯罪行為があった場合は直ちに警察に相談・通報する体制を構築します。

04

児童生徒が主体的に 参加した校則等の 見直しの推進

社会の変化等を踏まえた校則の見直し、校則のHPへの公表、ルール作り等へ、児童生徒が主体的に参加できるようにします。



学校の風土と欠席日数の関連を示す研究データもあります。自ら学びたくなる授業や、一人一人に合った個別最適な学び、学校のルール作りに子供たちが主体的に参加すること…学校改革はまだその途上ですが、子供の声を聞きながら学校の風土を「見える化」して、関係者が共通認識を持って取り組めるようにすることにより、学校をみんなが主役になって、みんなが安心して学べる場所にします。

05

快適で温かみのある 学校としての環境整備

子供たちが心地よい空間の中で学習・生活を行えるよう、快適で温かみのある環境にします。

明日また行きたい学校となるために、学校施設全体を学びの場として捉えた魅力ある環境にします。



06

障害や国籍言語等の違いに 関わらず、色々な個性や意見を認め合う 共生社会を学ぶ場に

障害のある子供と障害のない子供が可能な限り共に充実した時間を過ごすための条件整備と併せて、一人一人の教育的ニーズに応じた学びの場を整備するとともに、障害のある子供を担当だけでなく学校全体で支えられるようにします。

外国人の子供等が自らの「長所・強み」を活用し可能性を發揮できるよう、多様性を尊重しつつ、共に学び合える環境を整備します。



文部科学省



文部科学省
不登校のページ



こども家庭庁

(文部科学省)
誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策COCOLOプラン

はだのこども居場所マップ

サードプレイス

子育て世代にうれしい
素野のお店やスポットも
紹介するよ!

素野にはこどもや子育てのための素敵なコミュニティがたくさん!
自然の中で体を動かしたり、ご飯やおやつを作って食べたり、作業したり。
こどもも大人も、自分のペースで自分らしく楽しめる、
お気に入りの「居場所」を見つけよう!



1. だめき会 (はだのプレイパーク)
みんなでロープをいって遊ぼう♪
く! (高学年は裏手にて) 大出しても喜んでくれるよ!
自然の中でいっぱい遊ぼう!

2. たまりば [だめき]
毎週日曜日は、だめきの日だよ! 千村農家の
のんびりしたお茶の時間をぜひ楽しんで
ま〜! 涼やかならぬお茶の時間は、こども
も大人も楽しめるよ!

3. はだのcommon
学校に行っていない仲間たちと集れ
よう! 学校以外でもお友達で
きょうも! 大人の方はおし
やべりを楽しみましょう。

4. おもちや図書館ばさくらこ
こどもたち! 図書館にあるお
もちやでいっぱい遊ぼう! 気に入
ったおもちやの貸し出しもしてるよ。

5. 出雲大社 相模分祠
お祭りや七五三、お祭りや
おもちやを遊んでイベント
だめきの日です。

6. おかのうえろち
おかのうえろち。おもちや...
子育てのお供であるおもちや...
おもちやさんに相談してみよう!
おもちや、スッカリ!

7. コミュニティルームいろは
子育て、「ふら〜」と、ひと
り過ごす時間は、いろは〜
子育てを楽しくサポートする
ます。たまにはおもちやも
つくりたいですね。

8. だめき会 (はだのプレイパーク)
みんなでロープをいって遊ぼう♪
く! (高学年は裏手にて) 大出しても喜んでくれるよ!
自然の中でいっぱい遊ぼう!

9. だめき会 (はだのプレイパーク)
みんなでロープをいって遊ぼう♪
く! (高学年は裏手にて) 大出しても喜んでくれるよ!
自然の中でいっぱい遊ぼう!

10. VIVAのみなみ
おもちや遊びも楽しく! 「おもちや
遊び」がわからない! 「おもちや
遊び」がわからない! 「おもちや
遊び」がわからない!

11. はだの無料塾
【ひとりでもおもちやのほ〜!】と
いうキミ! 大学生が勉強を手
伝うよ。わからない問題は一
緒にやれば大丈夫!

12. だめき会 (はだのプレイパーク)
みんなでロープをいって遊ぼう♪
く! (高学年は裏手にて) 大出しても喜んでくれるよ!
自然の中でいっぱい遊ぼう!

13. はだの無料塾
【ひとりでもおもちやのほ〜!】と
いうキミ! 大学生が勉強を手
伝うよ。わからない問題は一
緒にやれば大丈夫!

14. だめき会 (はだのプレイパーク)
みんなでロープをいって遊ぼう♪
く! (高学年は裏手にて) 大出しても喜んでくれるよ!
自然の中でいっぱい遊ぼう!

15. だめき会 (はだのプレイパーク)
みんなでロープをいって遊ぼう♪
く! (高学年は裏手にて) 大出しても喜んでくれるよ!
自然の中でいっぱい遊ぼう!

16. だめき会 (はだのプレイパーク)
みんなでロープをいって遊ぼう♪
く! (高学年は裏手にて) 大出しても喜んでくれるよ!
自然の中でいっぱい遊ぼう!

17. だめき会 (はだのプレイパーク)
みんなでロープをいって遊ぼう♪
く! (高学年は裏手にて) 大出しても喜んでくれるよ!
自然の中でいっぱい遊ぼう!

18. だめき会 (はだのプレイパーク)
みんなでロープをいって遊ぼう♪
く! (高学年は裏手にて) 大出しても喜んでくれるよ!
自然の中でいっぱい遊ぼう!

19. カフェと日本酒 Roost
店主手作りの食事やお酒を楽しめる
お店。季節もあつたおもちや
子どもと一緒に楽しむ! レンタル
スペースとしても利用可。

20. だめき会 (はだのプレイパーク)
みんなでロープをいって遊ぼう♪
く! (高学年は裏手にて) 大出しても喜んでくれるよ!
自然の中でいっぱい遊ぼう!

21. だめき会 (はだのプレイパーク)
みんなでロープをいって遊ぼう♪
く! (高学年は裏手にて) 大出しても喜んでくれるよ!
自然の中でいっぱい遊ぼう!

22. だめき会 (はだのプレイパーク)
みんなでロープをいって遊ぼう♪
く! (高学年は裏手にて) 大出しても喜んでくれるよ!
自然の中でいっぱい遊ぼう!

**23. きょうのおやつと
コーヒー**
からだにやさしい材料を使
用したおいしいおもちやがたく
さん! 2階は遊べる小さい
おもちやもおすすめ。

**24. みなや
-dagashi & cafe-**
こどもも大人も楽しめる! 遊
びながらおもちや! 遊
びながらおもちや! 遊
びながらおもちや!

25. Onigiri Yum! Yum!
こどものおもちやや海苔を使
った、手作りおもちやのおもちや。有
料の材料を使った、季節限定の
おもちやもおすすめ!

26. tablet ~たべれと~
素野と新海、おもちやを使ったおもちやが
食べられます。こどもも大人も
楽しめる! 季節限定の
おもちやもおすすめ!

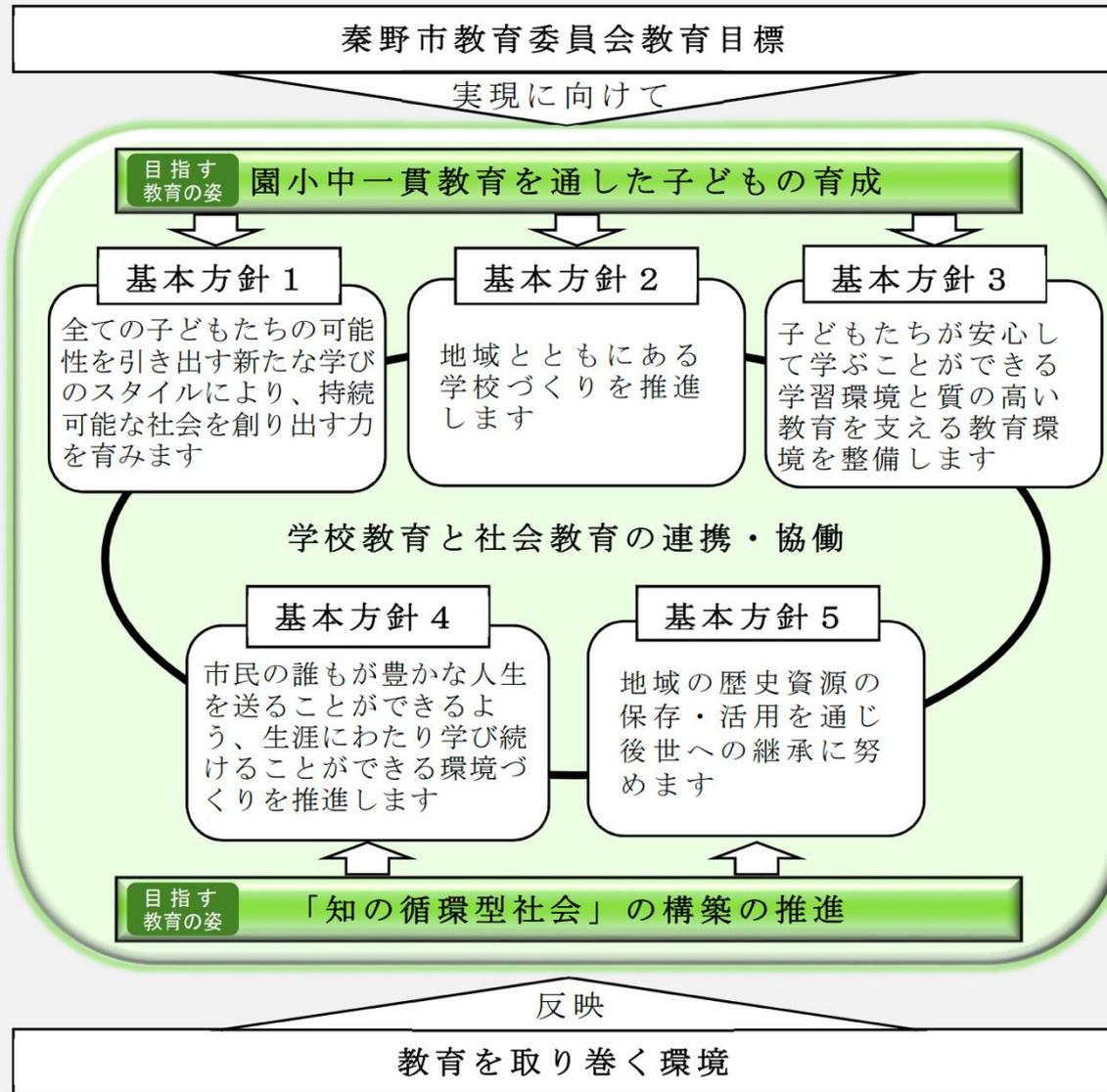
誰一人取り残さない学校の在り方



秦野市教育振興基本計画

【令和3年度～7年度】

本市の教育振興基本方針について



基本方針1

**全ての子どもたちの可能性を
引き出す新たな学びのスタイル
により、持続可能な社会を
創り出す力を育みます**

基本方針2

**地域とともにある学校づくり
を推進します**

基本方針3

子どもたちが安心して学ぶことができる学習環境と質の高い教育を支える教育環境を整備します

インクルーシブ 教育とは？

「全ての子どもを包摂する教育」とした上で、障害がある子どもや性的マイノリティーの子ども、外国にルーツがある子ども、ヤングケアラーの子どもなど、多様な子どもがいることを前提として、全ての子どもの教育の保障を目指す理念

～ユネスコ（国連教育科学文化機関）～

—共に学び共に育つために—



取組課題

- (1)すべての子どもをチームで支援する体制を整備する。
- (2)すべての子どもができるだけ通常の学級で共に学び共に育つための授業づくり及び学級づくりを行う。
- (3)在籍学級にかかわらず、すべての子どもが共に学ぶために、子どもが必要なときに適切な指導を受けられる体制を整備する。
- (4)すべての子どもが共に学び共に育つことにより、相互理解を深められるようにし、多様性を認め、互いの個性を尊重し、他者と協働する力を育む。

本市のインク
ルーシブ教育に
ついての説明

全ての子どもが
なるべく同じ場で
共に育つことを目指す考え方

～秦野市教育振興基本計画 P33～

「できるだけ」

「なるべく」

「できるだけ」

これ以上はできないという可能の限界まで

(積極的なニュアンス)

「なるべく」

周りの状況、成り行きに応じて可能な限り

(頼りないニュアンス)

秦野市における
特別支援級の児
童生徒数は？

令和元年度

487名

4.1%



令和5年度

608名

5.6%

誰一人取り残さ
ない学校づくり
に向けて

**早期に全ての子どもを包摂す
る学校へ転換を！**

**市費の非常勤講師等を積極的
に採用し教職員の充実を！**

**こども健康部と教育部の更な
る連携強化を！**

誰一人取り残さ
ない学校づくり
に向けて

早期に全ての子どもを包摂す
る学校へ転換を！

市費の非常勤講師等を積極的
に採用し教職員の充実を！

こども健康部と教育部の更な
る連携強化を！

誰一人取り残さ
ない学校づくり
に向けて

**早期に全ての子どもを包摂す
る学校へ転換を！**

**市費の非常勤講師等を積極的
に採用し教職員の充実を！**

**こども健康部と教育部の更な
る連携強化を！**

第4回12月定例会月会議 一般質問

誰一人取り残さない 教育について

ともにつくる秦野 桑原昌之

